

第90回 全国市長会議



議事進行する全国市長会会長、立谷・相馬市長

第90回全国市長会議（通常総会）を6月3日に開催した。今回は、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、出席者は正副会長、支部長、都道府県市長会会長とし、会議規模を縮小。初のWEB会議形式で開催。翌日、ホームページ（メンバー専用ページ）に動画を掲載した。

会議は、総会運営委員長の森・鹿児島市長の進行の下、冒頭、会長の立谷・相馬市長があいさつを行い、次いで、安倍・内閣総理大臣および高市・総務大臣からの来賓メッセージが紹介された。次に、永年勤続特別功労者（25年勤続）2名、特別功労者（20年勤続）8名、永年勤続功労者（12年勤続）58名について、被表彰市長へ郵送による表彰を行うことが伝えられた。

続いて、議事に入り、立谷会長が議長となり、会務報告が了承され、全国市長会平成30年度決算および令和2年度予算の承認が行われた。また、総会運営委員会において諮られ、通常総会に上程された各支部提出の82議案について、常任委員会委員長の了承の下、議案の取り扱いについて事務局から一括説明があり、了承を得た。次に、会長から一括上程された7件の決議案、

「新型コロナウイルス感染症対策に関する決議」「東日本大震災からの復旧・復興及び福島第一原子力発電所事故への対応に関する決議」「国土強靱化、防災・減災対策等の充実強化に関する決議」「地方創生の推進・分権型社会の実現に関する決議」「都市税財源の充実強化に関する決議」「行政のデジタル化及び学校教育のICT化の推進に関する決議」「参議院議員選挙制度改革に関する決議」について、いずれも原案のとおり決定した。

次いで、総会運営委員長の森・鹿児島市長の進行の下、役員改選に入り、正副会長候補者選考委員会座長の山口・千歳市長からの報告どおり、会長（任期2年）に立谷・相馬市長を、副会長（任期1年）に山下・深川市長、谷藤・盛岡市長、久住・見附市長、牧野・飯田市長、富岡・熊谷市長、田辺・静岡市長、齊藤・熱海市市長、河井・木津川市長、萩原・美作市長、久保田・宇部市長、岡崎・高知市長、池田・都城市長が選出され決定した。

新しく就任した会長からあいさつがあり、通常総会は閉会された。

なお、全国市長会議の運営に当たっては、WEB会議で総会運営委員が行った。

来賓



安倍・内閣総理大臣



高市・総務大臣

総会運営委員



総会運営委員長として会議の進行に当たった森・鹿児島市長



山口・千歳市長



櫻田・弘前市長



東村・福井市長



山口・笠間市長



齊藤・熱海市長



藤原・貝塚市長



松井・広島市長



内藤・徳島市長

役員改選



正副会長選考委員会座長の山口・千歳市長

新正副会長



立谷・相馬市長



山下・深川市長



谷藤・盛岡市長



久住・見附市長



牧野・飯田市長



富岡・熊谷市長



田辺・静岡市長



齊藤・熱海市長



河井・木津川市長



萩原・美作市長



総会当日モニター室の様子



久保田・宇部市長



岡崎・高知市長



池田・都城市長

安倍・内閣総理大臣 来賓メッセージ

第90回全国市長会議が本日開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

市長の皆さまにおかれましては、日ごろから地方自治の最前線で地域社会の発展や住民福祉の向上のためご尽力されていることに心から敬意を表します。

特に、新型コロナウイルス感染症対策について、皆さまに大きなご負担をお掛けしていますが、特別定額給付金の給付に関する事務等にご対応していただいていることに深く感謝申し上げます。

政府としては、コロナ時代の新たな日常を取り戻していくため、もう一段の新たな対策が必要であると判断し、先週第2次補正予算を決定しました。事業者の皆さんの固定費の大胆な軽減、資金繰り支援のさらなる大幅な強化、医療提供体制や検査体制の拡充を行うとともに、地方の実情に応じたきめ細やかな支援が可能となるよう地方創生臨時交付金も2兆円増額します。

先般の補正予算等と合わせ財政支出は120兆円、事業規模は230兆円を超えるものとなります。GDPの4割に上る世界最大の対策によって、この100年に一度の危機から日本経済を守り抜いてまいります。

今回の危機を未来に向けた社会

変革の契機とし、国と地方が一層連携して、東京一極集中を是正し活力ある地域づくりを進めていくことが必要と考えております。

熊本県宇土市で活躍されている地域おこし協力隊の隊員が、ご自身のICTスキルを生かして地元企業等とも連携し、非接触型の検温装置を開発されました。顔認証システムの機器を改良して、マスクをしたままでも1秒で検温でき、37・5度以上を感知するとアラームが鳴る仕組みとのことです。宇土市もこの検温装置を庁舎に設置することで、新型コロナウイルスの感染拡大の防止に大きく役立てておられるとのこと。

今後、感染拡大を予防しながら、新たな日常を作り上げるチャレンジに政府も国民の皆さまとともに踏み出してまいります。そのためにも、今後とも国と地方が心を一つにして取り組んでいくことが大切です。市長の皆さまが引き続きその力を存分に発揮されますことをご期待申し上げますとともに、国が進める諸施策へのご理解、ご協力を改めてお願い申し上げます。

結びに、全国市長会のますますのご発展と本日ご列席の皆さまの一層のご活躍を祈念いたしまして、全国市長会議開催に際してのごあいさつとさせていただきます。

第90回全国市長会議の開催、誠にありがとうございます。

市長の先生方におかれましては、日頃より地域の発展にご貢献いただき、新型コロナウイルス感染症につきましても、感染拡大防止や社会機能の維持、地域住民の皆さまの健康と安全の確保のため多大なご尽力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。併せてこの度の特別定額給付金の事務につきまして、迅速かつ的確な給付に向けてご対応をいただき誠にありがとうございます。

また、消防、救急の現場では、新型コロナウイルス感染症患者の移送等に全力で対応いただいております。全国の救急隊員の皆さまの日々のご尽力に心から感謝を申し上げます、敬意を表します。救急搬送困難事案の解消につきましても、関係機関で連携した取り組みを行っていただいております。心強く感じております。先月27日に閣議決定しました第2次補正予算におきましても、第1次補正予算に引き続き救急隊の感染防止対策を徹底するための事業を措置いたしました。

また、市区町村窓口等における電子証明書に関する手続きの処理の円滑化とオンライン申請や手続きのさらなる推進を図るために、マイナンバーカードの電子証明書関係のシステム処理能力を増強いたします。また、新型コロナウイルス感染症の影響

で事業や生活に苦しんでおられる納税者の皆さまに向けて、徴収猶予制度の特例や中小事業者等に対する固定資産税の軽減措置を創設するなど、地方税制上の措置を講じました。各市におかれましては、引き続き積極的な制度の周知・広報とともに納税者の皆さまのおかれた事情に配慮した迅速かつ柔軟な対応をお願い申し上げます。

また、地方税収や公営企業の料金収入等にさまざまな影響が生じることが想定されますので、減収補填債等の公的資金確保や料金収入減に対応する特別減収対策事業債の発行等々の資金繰り支援を実施しております。地方団体の財政運営に支障が生じないよう適切に対応してまいります。

3月以降、人と人との接触をできる限り少なくしながら社会経済活動を継続していく観点から、ICTが大きく貢献する場面も見られました。今回の第2次補正予算では、幅広く活用いただける光ファイバー整備の支援予算を大幅に増額するとともに、テレワークの相談体制の強化に必要な予算を確保いたしました。積極的な活用をお願い申し上げます。

結びに、全国市長会のますますのご発展と先生方のご健康とご活躍を祈念申し上げます。ありがとうございます。